

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

| | | | | | |
|--|--|--|--|-------------|--|
| 施策体系コード | 2-3-1 | | 事業名 | 高齢者保健福祉計画策定 | |
| 担当 | 保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 藤谷 211-2976 | | | | |
| 全体計画（当初） | | | | | |
| 事業内容 | <p>高齢化の急速な進展等の社会環境の変化に対応するために、平成15年4月を始期とする高齢者保健福祉計画を平成17年度中に見直し、平成18年度から第4期高齢者保健福祉計画を実施している。次期計画策定にあたり、平成18年度中に、社会情勢の変化などに伴う高齢者の意識や生活状況を把握し、計画に反映させることが必要である。特に、積雪寒冷の地にある本市では、高齢者の閉じこりの危険性をはらむなど、他の市と相違する特有の課題がある。現計画の実施状況を点検し、研究者等の協力を得ながら十分な調査・分析を行い、市民議論の深まりの中で、将来を見据えた目標を定め、新計画を策定する必要がある。</p> | | <p><年度別の事業内容></p> <p>平成16年度 高齢社会に関する意識調査実施 平成17年度 高齢者保健福祉計画策定 平成18年度 意識等調査実施</p> | | |
| | <p>平成16年度事業内容（決算）</p> <p>高齢者保健福祉計画策定に先立つ意識調査：前回調査は13年度 13年度は高齢者のみを対象とし意識調査を行ったが、16年度は高齢者（65歳以上）、高齢社会を支える若年者（20～64歳）を対象に調査を実施した。 調査対象数、有効回答数は次のとおり。</p> <p>高齢者調査：対象者数8,000人、回収数5,007人 若年者調査：対象者数4,000人、回収数1,427人</p> <p>平成16年度決算額：12,257千円 （調査票郵送／返送料、調査分析委託料等）</p> | | <p>平成17年度事業内容（決算）</p> <p>「第4期札幌市高齢者保健福祉計画」を「第3期札幌市介護保険事業計画」と一体的に策定し、詳細をまとめた計画書本書や概要を記した計画書概要版の作成を委託した。 作成にあたっては、「札幌市保健福祉施策総合推進本部」のもとに設置する関係部長による専門部会「高齢者保健福祉部会」で検討を行い、さらに公募による市民委員を含む学識経験者など30名で構成する「札幌市介護保険事業計画推進委員会（第2期）」においても審議を行った。</p> <p>平成17年度決算見込額 4,356千円 （計画原案、関係資料の作成及び印刷等委託料など） 本書 1,100部、概要版 20,000部</p> | | |
| 事業内容 | <p>平成18年度事業内容（決算）</p> <p>急速な高齢化や社会情勢の変化に際し、高齢者保健福祉計画の進捗状況及び高齢者を取り巻く社会状況の変化による影響等を把握するため、高齢者等を対象とした実態調査を行った。</p> <p>高齢者調査：対象者数8,000人、回収数5,313人 若年者調査：対象者数4,000人、回収数1,546人</p> <p>平成18年度決算額 3,314千円 （調査票郵送／返送料、調査分析委託料等）</p> | | <p>評価（成果）</p> <p>高齢化の急速な進展等の社会環境の変化に対応するために、高齢者等に対する意識調査を実施して札幌の高齢者像を把握する等、市民の意向を反映した第4期札幌市高齢者保健福祉計画を策定した。また、計画策定後に高齢者等の意識の変化を調査し、計画の進捗状況の把握を行った。</p> | | |
| | | | <p>課題</p> <p>社会情勢の変化などに伴う高齢者の意識や生活状況を把握し、いかに計画に反映させるかが課題である。 また、本市における他の部門別計画との整合性を今後も図っていく必要がある。</p> | | |
| 19年度以降の方向性・事業の予定 | | | | | |
| <p>本計画は、老人福祉法において、3年を1期として市町村が定める介護保険事業計画と一体的に策定することが義務付けられている。このため、平成21年度から始まる次期計画の策定に向けた検討作業を今後2年間で行う必要がある。現時点では、次期計画策定にあたり基礎資料とするために19年度中に高齢者等を対象として実態調査を行い、20年度中に計画を策定する予定である。</p> | | | | | |

